

部会が出された意見等

■仁淀川の一斉清掃について

- ①佐川会場で始めてパックテストを実施した。家庭排水に気をつける啓発につながったので、良かったとの意見が多く来年度実施希望の部会もあった。
- ②単に河川の清掃をするのではなく、パックテストを実施するなど進化させていく必要があるのではないか。
- ③受付が狭いなどのため、参加されても受付を通らない方が多かったようである。
- ④漁協や四電などの関係団体からの参加者がほとんど。広く一般の方が参加できるように工夫しては。例えば学校に参加要請を行う等。
- ⑤土・日は学校の手を離れるため、スポーツ少年団の世話人などに呼び掛けて、参加の輪が広がるような取り組みはどうか。役場からは教育委員会にチラシの配布を依頼し、保護者とともに参加するようにすれば取り組みの輪が広がるのでは。
- ⑥清掃するだけでなく、楽しめるイベントがあるといいのでは。
- ⑦会場は5ヶ所しかないため、清掃箇所を増やしたい。
日高村から会場を設けたいとの意見があった。
- ⑧昔と比較するとごみは大分減ったような気がする。
- ⑨河口では、釣り人のゴミが多いような気がする。

各部会が出された意見等

■ 来年度の取組みについて

- ①一斉清掃とシンポジウムが2本柱、続けることが大切、定着させることが大事。
特にシンポジウムの開催意義は大きい。
- ②仁淀川の良さを知ってもらうために、流域から飛び出して、都市部でもシンポジウムを行ってはどうか？また、よさこいの時期に県外観光客向けにPRの実施を検討してはどうか？
- ③子どもを川に呼び戻す取組みが弱いのではないか。
川に親しんでもらうイベントを考えてもいいのでは。例えば仁淀川漁協主催の親子バスツアーにて水生生物学習などを行うなどのタイアップをしたらどうか。

部会が出された意見等

■仁淀川シンポジウムについて

- ①シンポジウムの企画について、特に異論はない。
- ②「釣りバカ」のモデルとなった黒笹さんも出演されるし、会場も広いので漁協の組合員に参加を呼び掛けたい。
- ③シンポジウムは大切。お互いの活動を確認し合う場であり、自分たちが仁淀川のために何ができるのかを考える場である。ロビーでは仁淀川の写真を展示し、仁淀川について考えてもらいたい。